



「体験」「つながり」の体育祭

9月27日（火）に体育祭を実施しました。コロナウィルス感染症の状況がまだまだ続いています。生徒たちが「体験する」ことを重視し、今年度は『全員リレー』のみ前日の26日（月）に実施し、『学年種目』と『生徒会ダンス』だけでなく、『個人種目』についても全学年で実施しました。台風等の影響で天候が不安定で気を揉みましたが、とても素晴らしい体育祭となりました。

このような充実した学校行事となったのは、当日だけでなく、準備の段階から、「ひたむき」に、そして「団結」して取り組めたからだと思います。その中でも特に『生徒会ダンス』において、全校生徒が一体となって踊る姿には、心の底から感動しました。

当日は、『個人種目』において、それぞれがベストを尽くす様子が、『全員リレー』や『学年種目』ではクラスの仲間と気持ちをつなげて、大縄を跳んだり回したり、バトンをつないで最後まで全力で走ったりと、生徒たちの「ひたむき」な姿を多く見ることができました。



またそれだけでなく、時間通りに集合したり、きれいに整列したり、指先まできちんと意識して体操したり、拍手で応援し合ったり、開閉会式のあいさつや選手宣誓を立派にしたり、係の仕事に意欲的に取り組んだり、準備や後片づけに意欲的に取り組んだり、当たり前のことではあるものの、なかなかきちんとできないことを、しっかりとできるところが、内部中の生徒たちの良いところです。

午後に実施した『生徒会ダンス』は、実行委員の生徒が中心となって1学期からコツコツと取り組んできました。体育の授業はもちろんのこと、タブレットで配信されている映像を見て自主練習するなど、一人ひとりが主体的に練習に取り組んでくれました。他学年の練習が終わるのを待つ間も、グラウンドの端で勝手に身体が動いている様子には、心が温かくなりました。

今年度は、個々が各競技を「体験」できたことも良かったです。それだけでなく、上級生が活躍する姿を下級生が見ることができたのも、貴重な「体験」でした。また、3年生だけとなりましたが、保護者の皆さまに見ただけのことでも生徒たちの「やりがい」につながったと思います。1・2年生の保護者の皆さまには、大変申し訳ありませんでした。



体育祭の取り組みは、生徒たちが学級や学年の仲間と「つながる」良い機会でもありました。それだけでなく、『学年種目』では学級や学年の仲間と、『生徒会ダンス』では全校生徒が「つながる」ことができました。また、前述しましたように、生徒たちはそれぞれの『個人種目』や『係活動』の中でも「つながる」こともできました。様々な作業への取り組みも然りです。テントを設営するのは大人でもなかなか大変なことですし、暑い中で作業するのも大変です。そうした作業に意欲的にてきぱきと取り組める内部中学校の生徒たちは、素晴らしいと思いました。



更に、生徒会が全クラスからの意見を集約して決定した、年間スローガン『お互いを認め合い 広げよう思いやりの輪』も、様々な場面において感じる事ができました。当然のことですが、運動が得意で実力を発揮できる生徒もいれば、苦手を感じている生徒もいます。生徒たちはこれまで、そうした違いを互いに認め合った上で、『個人種目』の選手を決定したり、『学年種目』の練習に取り組んだりしてきました。体育祭当日も、仲間を応援したり仕事を手伝ったり、怪我をした仲間を気遣ったりする姿が見られました。普段から伝えている「慮ること」つまり「思いやりの輪」が、こうした行事を通して広がっていくのを、嬉しく思っています。



26日(月)はとても良いお天気で、真夏のような午後でした。翌日の開会式の練習の後に、学年ごとに『全員リレー』を実施しました。学級のために、すべての生徒たちが自分の全力を出し切って走る姿はいつ見ても良いものです。1年生がひたむきに走る姿にも感動しましたが、学年が上がる毎に、その走りは速さや逞しさが増していき、3年生の走りはまさに疾走でした。3年生が後輩たちに、生き生きと活動する姿をたくさん見せてくれたことは、とても嬉しいことです。どの競技でも後輩たちを凌駕する活躍で、後輩たちの憧れの存在となっていました。

27日(火)も良いお天気でした。生徒たちは、準備から片付けまでてきぱきと行動し、どの種目にもひたむきに取り組みました。最後まで挑み続ける姿、全力で走る姿、仲間と協力してボールを入れたりつないだりする姿、拍手で応援する姿、係の仕事に取り組む姿、どれをとっても大変素晴らしく、見ていてとても感動しました。立派に成長していると感じました。



最後になりますが、こうした行事が実施できるのは、日頃から生徒たちはもちろんのこと、学校の教育活動を支えてくださっている保護者の皆さまのおかげです。ありがとうございます。